

# 営大通信

第 45 号

令和 2 年 7 月 3 日

発行 青森県営農大学校興農会  
会長 小川 広徳  
青森県営農大学校後援会  
会長 工 藤 優美子

青森県上北郡七戸町字大沢48-8  
TEL 0176-62-3111

## 校長あいさつ



校長  
佐々木 伸 幸

この春、定年退職された館田校長を継ぎ、校長を命じられた佐々木と申します。営農大学校は25年ぶり2回目の勤務となりますが、久しぶりに学生と接することに高揚する気持ちと新鮮な喜びを感じております。

令和2年4月8日に新入生39名を迎え、新年度をスタートしました。新型コロナウイルス感染症防止に伴う臨時休業等により、予定していた行事等が中止や延期になっていますが、学生達は実習や講義に元気に取り組んでいます。

営農大学校では、「地域農業の中核的担い手となり得る農業経営者及び農業を支える多様な人財の養成」を教育目標とし、高度な農業技術と経営管理能力、社会情勢の変化に対

応できる知識と技能、マーケットインの視点での農畜産物の生産・販売、6次産業化などの担い手の育成に努めています。

これまでの農場実習等に加えて、ICTやGAP、農福連携などにも対応したカリキュラムの充実・強化と施設等の整備・改修に計画的に取り組み、新たな加工実習室において、6次産業化コースの授業もスタートしています。

さて、本校は、地域農業の中核的担い手を養成することを目的に、昭和55年に創設され、昨年度40周年を迎えることができました。これもひとえに卒業生や歴代職員など関係する方々の御協力によるものです。

本校に入校した学生が、本校の校訓である「実践」力を持ち、「創造」性を発揮し、「友情」を育むことができる人として、令和の時代を担う人財へと成長できるよう、教職員一丸となって指導して参りますので、保護者並びに関係者各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

## 後援会長あいさつ



後援会長  
工 藤 優美子

この度、営農大学校の後援会長を務めさせていただくことになりました。新型コロナウイルスの影響で自粛規制が続く中ではありますが、本年度も若さと情熱にあふれた39名の新入生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても、学生達を温かく見守り、教職員や興農会とも協力して営農大学校を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援、御協力の程よろしくお願いたします。



## 令和2年度入校式

令和2年4月8日、第41回青森県営農大  
学校入校式が行われ、県農林水産部の石澤次  
長（知事代理）をはじめ、来賓、保護者が見  
守る中、畑作園芸課程23名、果樹課程8名、  
畜産課程8名、総勢39名の入校生がこの日  
を迎えました。

佐々木校長は式辞の中で、「人は夢の実現  
に向け、日々努力することで、夢が希望にな  
り、それが目標に成ってやがて実を結ぶので、



佐々木校長 式辞

困難から逃げる  
ことなく、勇気  
を持って挑戦す  
る姿勢を忘れない  
てください」と  
激励しました。

入校生を代表  
し、畑作園芸課

程1年の加藤雄己さんが、「専門的な知識と  
技術を貪欲に吸収し、  
2年後にはどんな苦  
難も乗り越えられる  
力を身につけたい」  
と誓いの言葉を述べ  
ました。



新入生代表の加藤さん

一方、在校生を代表  
して、学生自治会長で  
ある畑作園芸課程2  
年の橘佳祐さんが、  
「学生生活を通して、  
卒業後にもつながる  
人間関係を築いて  
いってほしい」と歓  
迎の言葉を述べま  
した。



在校生代表の橘会長

## 各課程の紹介①

### ○畑作園芸課程

野菜・花き・水稲における優れた  
担い手を育成するため、基本的  
な生理生態や栽培技術、経営的  
手法など、幅広い知識を実践的に学  
んでいます。

近年はスマート農業の普及が進  
んできており、本課程でもドロー



ドローンの実演会



ねぎの定植作業

ンや無人ヘリによる薬剤散布やGPS搭載田植機による実演を行っているほか、安全・安心な  
農産物を生産するため、農業生産工程管理（GAP）に基づいた手法を学ぶなど、最近注目さ  
れている内容についても学生が学ぶ機会を設けています。

### ○果樹課程

2学年12名、1学年8名です。うち女子が各学年1名と  
少ないので一部学生から「女子求む」の意見が…。りんご、  
特産果樹の生態、栽培、防除、収穫・調製、出荷、剪定、  
経営について幅広く学んでいます。2学年は、プロジェク  
ト学習を中心に主体的に取り組んでいます。近年、補助労  
働力不足が問題になっていることから、りんごの摘果や袋  
かけ、シャインマスカット、おうとうなどの省力化技術と  
いったプロジェクト学習に取り組んでいます。



おうとうの授粉作業



## 各課程の紹介②

### ○畜産課程

酪農・肉牛を中心に、講義と実習により家畜飼養から経営管理までの実践的技術を習得しています。取得可能な免許・資格は家畜人工授精師、家畜商等です。現在1学年は搾乳技術を習得中であり、2学年は免許取得に向け、繁殖管理技術を習得中です。年間を通して、肉牛では夏山冬里方式の管理手法、酪農では乳房炎予防のため衛生的搾乳管理、堆肥を自給粗飼料の生産に活用する資源循環型畜産を学びます。



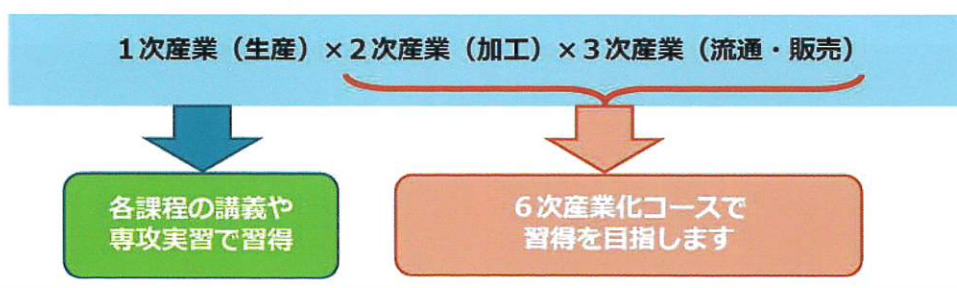
家畜市場出荷

## 6次産業化コースの開設

本年度から地域の6次産業化を担う人財を育成するため、農畜産物の加工技術や商品設計、マーケティングに基づく販売等を学ぶ、6次産業化コースを開設しました。

このコースは2学年時に畑作園芸、果樹、畜産のどの課程からも選択することができ、各課程での実習を行いながら、コースの専攻科目や加工実習等を受講します。プロジェクト学習では実習の中で学生自らが栽培した作物を材料として商品を作るまでの「6次産業化」を体験していきます。

### 【6次産業化とは？】



6次産業化コースの学生が加工技術を習得する場として、令和元年度に「加工実習室」を管理研修棟内に整備しました。加工実習室には野菜・果物の乾燥品、菓子類、ジュース等ビン詰め製品、レトルト製品等を製造する加工機器を整備しています。また、加工実習室では研修できない発酵食品や食肉加工技術等については、地方独立行政法人青森県産業技術センター農産物加工研究所等で実習を行う予定としています。

授業では専門知識を有する外部講師を招き、商品化に関わるマーケティングや経営管理、食品衛生等を習得します。



新しい加工実習室



「りんごシロップ漬」加工実習



「マーケティング論」の授業風景



## 9月18日 ダイちゃんの店オープン

校内定期直売実習は、学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に、農産物直売所「ダイちゃんの店」として行っており、本年度で8年目になります。実習を通じて、自ら生産した農産物の魅力を伝え、消費者の生の声を聞くことが、学生の学習意欲向上にもつながっています。

例年6月から開催していますが、校舎改修に伴い、今年度は、9月18日、10月2日、11月27日の計3回開催予定です。販売品目は、だいこん、ごぼう、ながいも、ぶどう、りんごなどを予定しています。

青空の下、緑のグラウンドを背に、直売実習にいそしむ元気な学生の姿をご覧ください。当校自慢の野菜や果物をぜひご賞味ください。

農産物直売所「ダイちゃんの店」

販売日 9月18日(金)、10月2日(金)、11月27日(金)

営業時間 13:15～14:30

場所 正面玄関前(雨天時は体育館等)

※日程はHP

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/daichan.html>)



昨年度の販売風景



雨天時は室内で開催

## 新任職員紹介

校長	総務課	教務研修課		農産園芸課	
 佐々木 伸幸	 山本 淳子	 成田 真樹	 木下 肖	 佐々木 健	
農産園芸課		畜産課	<p>～転出・退職～</p> <p>校長：館田朋彦                      総務課：佐藤真琴                      教務研修課：對馬和春                      農産園芸課：山田 隆、小笠原博幸、長谷川夏子                      畜産課：木村 勉、臼田 裕</p>		
 浅利 欣一	 古川 耕一郎	 植田 祐介			



## ～今後の行事予定～

[8月3日(月)～14日(金)の平日] オープンキャンパス(事前予約必要)

[10月24日(土)・25日(日)] 営大祭(オープンキャンパス併催)